

インターネットと人権

～インターネットを悪用した人権侵害～

1. インターネットで世界が広がる
2. インターネットを悪用した人権侵害
3. モラルを自覚しルールを守ろう

インターネットと人権

1. インターネットで世界が広がる

① インターネットで世界が広がる

インターネットは急速に世界で広まりました。スマートフォンやタブレット端末、パソコンを使って、簡単に多くの情報をすぐに収集することができたり、世界中の人とコミュニケーションをとることができるなど、情報媒体として無限の可能性が広がっています。

② インターネットで利用者の増加

日本のインターネット利用者は年々増え続けており、13歳から59歳までの年齢層では個人の利用率は97%を超えています。

インターネットは私たちの日常生活を始め、学校・仕事などあらゆる場面で、大きな存在となっています。

インターネットと人権

2. インターネットを悪用した人権侵害

① インターネットを悪用した人権侵害とは

インターネットは、私たちの生活を豊かにする便利な道具である反面、使い方を間違えたり、悪意をもって使ったりすると“凶器”にもなります。たとえば、誰もが見られるSNSや掲示板等に誹謗中傷を書き込むなど、他人の人権を侵害する事件も後を絶ちません。

インターネットを悪用した人権侵害の特徴

- ▶ 加害の容易性
- ▶ 匿名性
- ▶ 被害の急速拡大化
- ▶ 被害の回復困難性

インターネットと人権

2. インターネットを悪用した人権侵害

② ネットいじめ

スマートフォンやタブレットなどの携帯端末による、子どもたちの間での“ネットいじめ”が問題となっています。

子どもたちが被害者にも加害者にもならないよう、大人は常に状況を把握する努力をし、人権の視点から注意・指導していくことが大切です。

③ プライバシー侵害・デマ・炎上

インターネットには匿名で気軽に情報を書き込めることから、真実でない情報も多数あるのが実情です。中には特定の個人を何の根拠もなく犯罪者であると決めつけるようなデマもあり、重大な人権侵害につながります。さらに、インターネットは相手の顔が見えないことから、感情的な書き込みがエスカレートし、「炎上」に至ることもしばしばです。

インターネットと人権

3.モラルを自覚しルールを守ろう

① 利用する前に

- インターネットの世界は多くの人が集まる場です。常に、画面の向こう側には人がいることを意識して使いましょう。
- インターネットの利用状況は全て記録されています。匿名であっても、法的手段をとれば、記録から追跡して加害者を特定することができます。マナーを守って正しく使うことが重要です。

② 職場や家庭・学校で

- 子どもがどのようにインターネットを使っているか、大人は常にその状況を把握し、フィルタリングを利用したり、時には注意・指導する必要もあります。それが子どもを危険から守ることになります。